

奇跡の水辺、白水庵を訪ねて

～ならまちを歩いて知られざる庭園へと誘う

奈良市内の雑踏のなかに、重森三玲が監修したといわれる見事な庭園が残っています。戦後のある時期、奈良の文化人サロンだった白水庵です。昔は春日山から水が流れ込んだ自然池で、室町期の遺構が一部に存在するそうです。

往年は実業家の安田翁を囲み、指物師の川崎幽玄や春日大社宮司の水谷川忠麿（洋画の達人、近衛文麿の実弟）、陶芸家の小山富士夫ら多彩な人士が訪れ交流しました。

ならまちをゆっくりと散策しながら近づいて参りましょう。

日時 2018年3月31日 [土] 午後2時スタート

集合 近鉄・奈良駅前の行基広場

ガイド 浅野詠子（ジャーナリスト、『奈良の平日』の著者）

懇親会 午後5時ごろより JR 奈良駅前の居酒屋で開催

主な散策ポイント

瓦屋根に十字架の奈良基督教会堂（昭和初年、国の重文）～大正時代の旧六十八銀行（南都銀行本店、登録有形文化財）～伝統の花街、元林院町～往年の繊維産業の記憶、トロッコが走っていた町家～清酒「春鹿」醸造元（今西清兵衛商店）～いくつもの風鈴が連なる街路～笑う狛犬のいる鎮宅霊符神社～奇跡の水辺、白水庵へ

費用 2000円（資料・ガイド代、庭園見学協力金を含む） *懇親会別途

☆定員15人（先着順）

お申し込みは 松下へ 090-9058-6761